

令和8年3月第1回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 丸山 邦久】

| 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----------------------------------|---|-----------|
| <p>1. 少子化対策プロジェクトと人口ビジョンについて</p> | <p>令和7年度の出生数は、10名であると説明があった。令和7年3月に発表された「木島平村第7次総合振興計画」（以下、振興計画）によると、令和7年度から令和10年度の出生数の目標が平均で21人となっている。この出生数は目標を大幅に下回っている。目標達成のためには、令和8年度から令和10年度の3年間に平均出生数で25人を達成しなければならない。</p> <p>また、木島平村人口ビジョン（以下、人口ビジョン）では、令和12年3,842人、令和22年3,560人となっている。この目標達成も大変困難な状況になってきていると感じる。そこで伺う。</p> <p>① 振興計画の出生数と人口ビジョンの人口見通しは達成できると考えているか。</p> <p>② 子育て世代の移住者数の目標を52人（令和7年度から令和10年度）としているが、令和7年度は現時点で何人か。また、目標の52人を達成するためにどのような方策を考えているか。</p> <p>③ 振興計画に「こども家庭センターの設置と推進」とあるが、設置はいつになるのか。また、その役割は何か。</p> <p>④ 再三話題にしている「奇跡の町」岡山県奈義町は、少子化を深刻に受け止め、平成16年4月1日から子育て支援事業を開始している。22年も前から矢継ぎ早に子育て支援策を充実している。まさに「先憂後楽」である。一方、木島平村は問題解決を先送りしている感じさえする。「先楽後苦」にならないければ良いと思う。今後、どのような子育て支援策を講じていくか。また、その時期はいつか。</p> <p>⑤ 少子化対策の特効薬は、子育てをするのに不安のない所得を得ることができる雇用先の確保である。そのために何をするか。</p> <p>⑥ 子育て支援のうち、精神的支援は何をするか。</p> | <p>村長</p> |
| <p>2. 村民はどの産業で生活の糧を得るか</p> | <p>村長は、木島平村は「農業と観光の村」と再三発言してきた。しかし、今後の米作りは、さらに大規模農家に集約されていくと予想される。人口ビジョンの令和12年の3,842人と令和22年3,560人は、第一次産業・第二次産業・第三次産業のどこで生活の糧を得ていけば良いと考えているか。村内と村外に分けて、各産業の就業者数を示してほしい。</p> | <p>村長</p> |